

料金後納郵便



ゆうメール

# 牧山花・夏ニ3毛

2019年4月6日・土 — 4月21日・日

Open 11:00 — 17:00 / Close 10日(水)・17日(水)

作家は全日在廊です。

- 「牧山花と高橋台一のお話し会」  
テーマ「夏ころも」  
4月13日(土) 15時より 参加費 1,000円(お茶とお菓子つき)



## 箱根菜の花展示室

〒250-0311 神奈川県足柄下郡箱根町湯本351-2

Tel.0460-83-8166

<http://tenji.nanohana.co/>

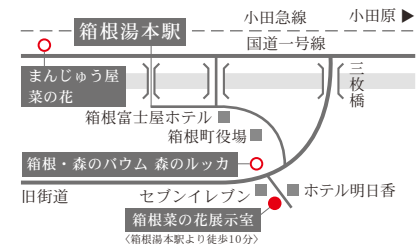
【休館時連絡先】菜の花暮らしの道具店 Tel.0465-22-2923

### ○自動車でお越しの方

国道一号線「三枚橋」信号から三枚橋を渡り、旧街道沿いセブンイレブン手前を左折100m上る。小田原厚木道路・西湘バイパスをご利用の場合は、「箱根インター」で降りずに進み湯本の手前でおりて、国道一号線を箱根方面へ、三枚橋を左折してください。三島方面より箱根新道でお越しの方は、「須雲川インター」が使えません。箱根新道を過ぎ次の降り口より国道一号線を箱根方面へお進みください。

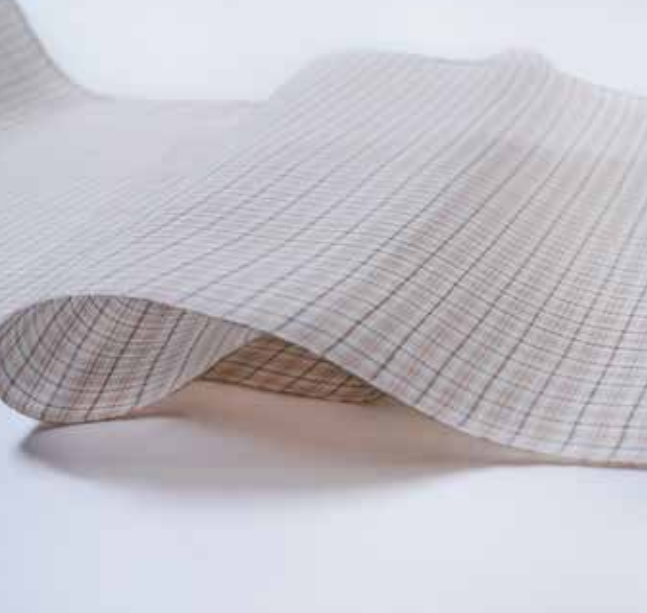
### ○電車でお越しの方

箱根湯本駅を下車し富士屋ホテルへの橋を渡り箱根町役場方向に、進み、旧街道へ。湯本駅より徒歩10分です。



協賛/和菓子業の花

・単衣のきもの 素材:絹



・盛夏のきもの 素材：絹と麻



・単衣のきもの 素材：絹



・単衣のきもの 素材：絹

● 牧山花さんと出会って10年近くが経った。

5年前、染の津田千枝子さんの企画の時に会って、「作品を見せて下さい。」と言ったら、3本の反物の夏ころもを持って現れた。それを見た私は、花さんの織りのもつ深さと透明感に「おそろしい。」と発言したという。覚えていないが、それからその日の深夜まで12時間も話し込んだらしい。以後、年に12本織る内の3本ずつを買い取ってきて、4年が経った。

12本の夏ころもが揃った。そして花さんの10年間の集大成として、織った反物の記録として残してきた小巻の100本で、大きな展覧会ができることになった。それが今回の企画です。まずはじっくり見てほしい。花さんにしかできない、織りをアートに昇華させる力を持っている。

花さんから制作のコンセプトが届いた。

一本の線を引く。

心がざわざと動き始める。

その線の存在のゆらぎを追っていったら

無数の交点が変わる布の世界に入り込んでいました。

ミニマムとも思える

たてとよこの線の交わりの中で

どれだけのゆらぎと出会い

表出させることができるか

それが、常に思い続けていることです。 牧山 花

花さんが織りを夏ころもだけに限定してきたのはなぜかも含め、

花さんの織りの根本が何であるか？

私も話しの中で深めていきたい。ということで、お話し会を企画します。

ぜひご参加下さい。

牧山 花 プロフィール

1971年東京生まれ

東京造形大学(絵画科)を卒業後、京都、沖縄で染織を学ぶ。

2000年より湯河原在住。

草木染による緋の技法を用いた布による空間表現をへて

2006年、着物の制作をスタートする。

以来、夏の着物に特化した布づくりを続けている。

2019年3月9日 店主 ● たかはしたいいち。

写真 小林敏伸